

みんなで“まちを育てる”フォーラム
市民ワークショップ

第7号

かわら版



平成27年7月
発行：岩手県立大学
盛岡短期大学部
内田研究室

サケのまち宮古PRキャラクター
サーモンくん&みやこちゃん

6月20日 第7回市民ワークショップが開催されました

宮古駅南側に計画中的新たな拠点施設のあり方や、現市庁舎跡地の活用方法、そしてこれらを核とする中心市街地地区に賑わいを産み出すためのアイデアについて話し合う「みんなで“まちを育てる”フォーラム」第7回目の市民ワークショップが、6月20日（土）に開催されました。

今回は、特に市庁舎跡地に焦点を当てた、前回の「シナリオづくりワークショップ」の続編。市庁舎跡地でどのように過ごすかをイメージし、各メンバーのイメージを共有しました。

ワークショップには、高校生、短大生から40歳までの年代の29名の皆さんに参加していただきました。当日の様子は宮古市ホームページ、および宮古市公式facebookページにも掲載されています。 <https://www.facebook.com/city.miyako>

市民ワークショップ 市庁舎跡地での過ごし方をイメージ

初めに、市庁舎の敷地はどんな場所なのか、バルコニーから眺めてみました。そして、「市庁舎跡地での過ごし方」をイメージして、それを映画のワンシーンのようにカードに記入していきました。

それから、班ごとにまとめ、発表です。さて、どんなイメージが出てきたでしょう…



市庁舎の敷地はどんな場所だろう？



模造紙に張りながらまとめました

A班 「癒しの広場」



一つの用途だけにするのはもったいない！
「ホスピタリティ」「スポーツ」「アート」
「アクティビティ」の4つのテーマで活用していこう！

B班 「人が集うまち宮古」



人が集まり、情報が集まる「つながる場」。
普段の日常のなかではゆったりと過ごせる場所として。夏フェスや「日本一のピヤガーデン」などのイベント開催にも活用を！

C班 「デート・酒・文化に飢えている宮古市民」



10～20代：デートもジョギングも
20～30代：ビールを片手にゆったり
30～40代：家族で、子どもと訪れたい
…全世代が使える場所にしよう！

D班 「四季を楽しむ共育みやこ！」



春は桜、夏は船、秋は味覚、冬はイルミネーション…四季それぞれに楽しめる、みんなの憩いの場にできるといい！教育や研究に活用するアイデアも。

E班 「ある日の私(とビール)」



アートフェス、夏祭りや秋祭り、ランニングコース、川遊び…いろいろな場面で。宮古の特産品を売っているところもあるといい。あとは、何といたっても屋外でビールを！

「〇〇できる□□」という表現が多かったのが印象的でした。それから、海とのつながり、末広町とのつながり、分庁舎とのつながりというように、つながり…移動のイメージが出てきたのが良かったですね。「でっかいハコモノ」ではなく、「〇〇できる場所」というイメージを大事にしていきましょう！



最後に、弘前大学の北原先生からコメントをいただき、今回のワークショップは終了しました。

今後の予定 …市長にプレゼンテーション！

次回の第8回ワークショップは8月1日（土）14時より開催予定です。今回は、いよいよ、これまでの成果をまとめて、市長へのプレゼンテーションを行う予定です。ぜひご参加ください！

なお、この「みんなで“まちを育てる”フォーラム」は、次回で一区切りとなります。そこで、次回ワークショップの終了後、参加者の皆さんで、成果（アイデア）と軽食を囲んでざっくばらんに話をする交流会を開催します。こちらにも、ぜひご参加ください。

第8回ワークショップのお知らせ

「成果発表－市長にプレゼンテーションしよう」

日時：8月1日（土）14:00～17:00

場所：市役所6階大ホール

参加は自由です。興味のあるお知り合いの方がいましたらぜひお誘いください！

問合せ先
宮古市役所復興推進課
電話 68-9089



みやこちゃん